



クラブ活動計画

2018～2019



インスピレーションになろう

国際ロータリー テーマ

BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

八尾ロータリークラブ テーマ

For the team 全てをクラブの為に

国際ロータリー第2660地区

八尾ロータリークラブ

国際ロータリー会長 方針

インスピレーションになろう

2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン



113年前の創設以来、ロータリーの役割は、世界において、また会員の人生において、絶えず進化してきました。ロータリーはその初期、会員が親睦と友情を見つけ、地域社会で人びととのつながりを築く方法を提供していました。その後ほどなくして、ロータリーに奉仕が芽生え、組織の成長とともにその影響も膨らんでいきました。間もなく、ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は世界中の家族や地域社会の人びとの生活を変えていくようになりました。活動の成果を高めるために、他団体とのパートナーシップや奉仕の重点分野を生み出しました。各国政府、国際団体、無数の地元や地域の保健当局と協力して、世界最大の官民協同による保健の取り組み、ポリオ撲滅にも乗り出しました。ますます多くの会員が、友情だけでなく、人助けのために行動する方法を求めてロータリーにやってくるようになりました。

ロータリーは今も、そしてこれからもずっと、ポール・ハリスが思い描いた団体であり続けます。それは、この地球上のあらゆる国の人たちが手を取り合い、自分を越えた素晴らしいことを生み出せる場所です。その一方で、今日のロータリーは、類まれな不朽の価値を提供してくれます。それは、才能、そして世界を変えようという熱意をもつ人たちの世界的なネットワークの一員となれるチャンスです。私たちは、地域社会で行動する力が世界的な影響を生み出し、力を合わせればたいのいことを実現できる能力とリソースを兼ね備えています。

全世界で、ロータリーはかつてないほど重要な存在となっており、より良い世界を築くその潜在能力は莫大です。残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を十分に享受していません。

ロータリーの奉仕は、人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現するために、私たちは、ロータリーでの自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割を、これまでとは違う角度でとらえる必要があります。公共イメージにもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があります。より持続可能な影響をもたらす大きなプロジェクトに力を注ぎ、ロータリー年度や任期を超えた活動の研究と計画に時間を費やす必要があります。一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。

ポール・ハリスが述べたように「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとって、ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

国際ロータリー会長方針	1
地区ガバナー方針	2
クラブ活動方針	6
現況報告	
1. 名称	10
2. 事務所	
3. 例会日	
4. 地域	
5. 会員	11
6. 歴代会長・幹事	14
7. 会員年齢構成	15
8. 組織表	16
9. 理事・役員・委員会構成表	18
八尾ロータリークラブ職業分類	19
10. 会計予算	24
11. 行事予定表	25
各委員会 基本方針・活動計画	27
八尾ロータリークラブ定款	

地区ガバナー 方針



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 山本 博史
(大阪南RC)

1 はじめに

ポリオ撲滅はRIの最優先事項です。1980年代後半、ポリオは世界125カ国の国々で35万もの人が発症していました。その後30年余の努力の甲斐もあり、2017年の発症数は3カ国で22件にまで減りました。大きな成果を得たと言っても、まだゼロではありません。ここでポリオを撲滅までもっていかねば、振り出しにもどり、再び何十万人の人が苦しむことになるかもしれません。撲滅のためには、毎年4億5千万人の子供にワクチンを投与しなければなりません。中には、内戦やテロ、政情不安な国の子供達も含まれます。ポリオ撲滅のための資金が15億ドル不足していると言われていましたが、RIが3年間で1億5千万ドルを拠出し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、各国政府、その他各種団体の支援を得た結果、その不足分15万ドルの手配も目途が立ちそうな状況です。

30年前、全世界で毎日1000人もの子供が発症したポリオ、そのポリオが地球上から完全に無くなる歴史的な日まで、我々ロータリアンは立ち止まるわけにはいきません。

2 ロータリーの目的と行動指針

このポリオ撲滅の活動は、1979年にフィリピンの地区が3H補助金を活用して始まりました。この一地区の活動が世界的な活動に発展することができたのは、何故でしょうか。ここで、ロータリーの目的、ビジョン、RI戦略計画等、ロータリアンの指針となるべきものを整理・確認したいと思います。

まずは、ロータリーの目的です。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。」

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること(RI定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)」

次に、昨年7月のRI理事会で採択されたロータリーのビジョンです。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」

そして、四つのテストです。

「①真実かどうか、②みんなに公平か、③好意と友情を深めるか、④みんなのためになるかどうか」

また、前記ロータリーのビジョンに基づき、5年程度の中期の計画としてのRI戦略計画があり、その計画の中で、テーマ、ロータリーの使命、中核的価値観、戦略目標が定められています。

- テーマ： 「価値観を行動に」
ロータリーの使命： 「職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解・親睦・平和を推進することです」
中核的価値観： 「親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ」
戦略的目標： 「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」

ここで注目すべきは、ビジョン、使命から戦略計画のテーマまで「行動」という言葉が何度も繰り返し使われているということです。そして、バリー・ラシン会長の2018-19年度のRIのテーマが「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」です。この文脈を考えて頂ければ、インスピレーションが閃きや思いつきという意味ではなく、人びとにインスピレーションを与える存在ということが理解頂けると思います。また、私が参加した今年のサンディエゴ国際協議会では、「TRANSFORM (変化)」、「PEOPLE OF ACTION (行動人)」、「CONNECT (接続)」という言葉がよく使われていました。「変えよう」「世界を変える行動人」「力をつなごう」です。

ロータリーの目的以下、我々ロータリアンの指針となるべきものを、以下のように整理することができます。

「ロータリーの目的を達成する為に、ロータリーのビジョンを掲げ、中期計画のテーマを価値観を行動として定め、4つのテストを個人の行動規範として、ロータリーの使命を果たすべく中核的価値観を基本理念として行動する事が求められていて、行動のキーワードが「TRANSFORM」、「PEOPLE OF ACTION」、「CONNECT」であり、次年度のテーマは「BE THE INSPIRATION」とする。」

前述のポリオ撲滅の活動も、何人かの行動がロータリアンを、地域の人々を、RIを、WHOを、ユニセフを、ビル&メリンダ・ゲイツ財団をインスパイアし、これら団体や人とCONNECTし、世界をTRANSFORMし、PEOPLE OF ACTIONとして行動した結果なのです。また、資金10億ドルを超えるロータリー財団、既に2万人弱の留学性を支援し、世界9カ国で米山学友会が誕生している米山奨学事業も、各クラブが世界で地域社会で行っておられる数々の奉仕プロジェクトもそうです。誰かが考え、誰かが行動し、人々をインスパイアし、つながり、世界を変えていくわけです。その源はインスピレーションであります。インスパイアという言葉は、感動させる、奮い立たせる、鼓舞する、元気づけるなど様々な意味があります。キリスト教では神が人間に生命を与えること、息吹を吹き込むことをインスパイアと言うそうです。人びとに息吹を吹き込んで下さい。生気を与えて下さい。バリー・ラシン会長のテーマは、『BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう』です。

3 戦略的目標について

(1) 三つの戦略的目標について、それぞれ以下の点について、私の考えを述べます。

①「クラブのサポート強化」

RIは、全世界のロータリークラブを会員として組織され、ロータリー全体の管理組織です。ガバナーは、RIから地区に派遣され、RI(地区)を管理し、そしてクラブをサポートするために存在します。ガバナー補佐、地区の各委員会は、クラブのサポートのため、その年度、ガバナーから委嘱され、ガバナーを補佐する立場です。

他方、クラブは1962年国際ロータリー基本方針に、「地方的実情においてRIの方針を解釈し実行するにあたり最大の融通性を認めるもの」とされているとおり、ロータリーの目的を無視し、また逸脱しないかぎり、奉仕活動を自主的に行うことが認められています。

したがって、ガバナーは一方向的にクラブを指示命令する立場にはありません。その前提にたつたうえで、

RIビジョンやRI戦略計画があり、18年-19年度のテーマが「BE THE INSPIRATION」です。全世界のロータリークラブは、この方向に向かって行動することになりますが、ガバナーはクラブの主体的な活動をサポートします。

②「人道的奉仕の重点化と増加」

職業奉仕について、職業奉仕がロータリーの根幹かという議論があります。この点については、ロータリーの目的の第2項に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と規定され、四つのテストも不変です。中核的価値の中でも、高潔性と倫理がうたわれています。2013年規定審議会で採択された「ロータリーの樹」のイラストを見ても分かるように、ロータリーの樹が日本のロータリーの根幹を示すものであることに変わりありません。バリー・ラシン会長が掲げるテーマ「BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう」は、まさにこのロータリーの樹がより大きく、より太く、そしてより多くの果実を生み出そうというものです。

③「公共イメージと認知度の向上」

社会奉仕活動を積極的に行うことが素晴らしいことは言うまでもありませんが、表現の仕方によっては、ロータリアン以外の人に誇示しているように受け止められるとすればどうでしょうか。若い人達がロータリーに入りたいと考えるでしょうか。また、各種団体がロータリーとともに奉仕活動をしようと考えているでしょうか。ロータリーの公共イメージの向上は、ロータリーの活動が、人々をインスパイアし、また多くの人とCONNECTすることによって、持続可能な良い変化を生むために、非常に重要なテーマです。

(2) 2018年－2019年度：ロータリーの目標は以下のとおりです。

《優先項目1「クラブのサポートと強化」に関する目標》

- i. 現会員を維持する
- ii. クラブの会員数を増やす
- iii. 新クラブを結成する
- iv. 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす

《優先項目2「人道的奉仕の重点化と増加」に関する目標》

- v. ポリオ撲滅活動への現金寄付と地区からDDF寄付を増やす
- vi. DDFを利用した地元や海外での地区補助金ならびにグローバル補助金を増やす
- vii. インターアクトとローターアクトが地元のロータリークラブや地域社会と一緒に、奉仕プロジェクト（環境関連のプロジェクトを含む）に参加するよう促す
- viii. 年次基金への寄付を増やし、2025年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する

《優先項目3「公共イメージと認知度の向上」に関する目標》

- ix. ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る
- x. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを推進する
- xi. ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用したり、クラブ史を記録することで、ロータリークラブのプロジェクトに対する認識を高める

4 第2660地区の2018－19年度の方針

2018-19年度は、地区のテーマやスローガン、キャッチコピーは作りません。バリー・ラシン会長の『BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう』というテーマを受けて、各クラブのテーマや方針を作ってください。第2660地区の方針は、以下の10項目です。

①ポリオ撲滅への協力をお願いいたします

ポリオ撲滅はRIの最優先事項です。

②ロータリー賞の受賞を目指してください

当地区のクラブのロータリー賞の受賞数が減っていますが、クラブセントラルの活用ができていないことに一因があります。是非ご活用ください。

③ロータリー財団と米山奨学金への協力をお願いします

ロータリー財団：年次基金寄付 会員一人当たり 150ドル
ポリオ寄付 会員一人当たり 50ドル
恒久基金寄付 ベネファクター 1名 (1,000ドル)
米山財団：会員一人当たり30,000円

④会員基盤を強化してください

⑤ロータリーのIT化への協力と公共イメージ向上へのチャレンジをお願いします

ITを活用し、自らアクセスし、必要な情報を手に入れなければならない時代になりました。

⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンを策定してください

是非とも各クラブで戦略計画委員会もしくは、その機能を持った委員会を立上げ、クラブの将来のあるべき姿を各クラブの皆様で共有し、その実現に必要な改革、改正を行って頂きたいと思えます。

⑦新IM内の親睦と情報交換を推進してください

18-19年度より新しいIMがスタートします。このIMの組み換えは、より情報交換を活発にし、親睦を深めつつ切磋琢磨し、ロータリーデーやフレッシュロータリアンセミナー等を通して、各クラブが活性化する事が目的です。

⑧ハンブルク国際大会、地区大会、地区事業への積極的参加をお願いします

⑨地区ロータリーデーを企画実施する予定です、ご協力をお願いします

⑩地区のスリム化、効率化、運営の合理化、財務ルールを徹底します

5 最後に

国際ロータリー第2660地区とは、82クラブ、3690名(※)の会員の皆様のことです。主役は地区ではなく、クラブです。(※2018年3月15日現在)

クラブの目的は、標準ロータリークラブの定款の第三条に

「ロータリーの目的の達成を目指し五大奉仕部門に基づいて、成果あふれる奉仕のプロジェクトを実施しロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えてリーダーを育成すること」

と定められています。どうかこの目的に沿って、RI会長の方針をご理解いただき、また共感していただき、クラブの年度方針を立てていただきたいと思えます。

国際会議場の会場では、このキャッチフレーズが掲げられていました。

EXCHANGE IDEAS
TAKE ACTION
JOIN LEADERS

皆様、一人一人がリーダーです。是非とも周りのリーダー達とCONNECTしてください。アイデアを交換してください。そして行動してください。

皆様のこれからのご活躍、そして、各クラブが益々魅力ある、個性ある元気なクラブになられますことを祈念しております。

クラブ活動方針

for the team

～ 全てをクラブの為に ～

会 長
山本勝彦



今年度の会長を仰せつかりました、山本勝彦でございます。何分初めての大役ですので、理事役員の皆様をはじめ会員各位の皆様のご協力が無ければ無事運営することが出来ませんので、何卒宜しくお願い申し上げます。

私は平成9年4月に元会長の池尻誠会員のご紹介により、八尾ロータリークラブに入会させて頂きました。それから早、今年で22年を迎える事となりました。そこで会長を仰せつかるにあたり、今年度の会長所信を述べさせて頂こうと思っております。

さて、今年度(2018-2019年度)のRI会長のバリーラシン氏(バハマ、ニュープロビデンス島出身)はテーマとして、「インスピレーションになろう」を掲げておられます。日本語で表現すると非常に分かりづらく、語源はINSPIRE:感動させる、奮い立たせる、鼓舞する、元気付ける等の動詞であり、「BE THE INSPIRATION」、日本語での「インスピレーションになろう」は、「感動させる、鼓舞させる人になろう」といった訳が適切かと思っております。

またRIとしては、大きく4つの不変の指標を掲げております。

*ロータリーの目的

(ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。)

*ロータリーのビジョン

(私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生む為に、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。)

*四つのテスト

(真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなの為になるかどうか)

*RI戦略計画

(ロータリーの使命は職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。価値観を共有し、親睦を通じて友情を育み、奉仕を通じて地域社会の問題に取り組むことです。)

今年度の山本博史地区ガバナーは、RIの方針に基づき地区方針を出されました。

「2018-2019年度 地区方針」

①ポリオ撲滅への協力をお願いします(99.9%撲滅したが、0.1%の為に今後12億ドルが必要である。効率は悪いが、高価な不活化ワクチンが必要。今迄に15億ドル使用した。)

②ロータリー賞の受賞を目指してください(各クラブへのお願いです。)

③ロータリー財団と米山記念奨学会への協力をお願いします(年次寄付金はもちろん、特別寄付をお願いします。)

*年次基金寄付 150ドル/会員、ポリオ寄付 50ドル/会員

ベネファクター(恒久基金寄付) 1名/クラブ

*米山寄付 30,000円/会員(年会費に5,000円を徴収分含む。)

④会員基盤を補強してください(増強してください。)

⑤ロータリーのIT化への協力と公共イメージ向上へのチャレンジをお願いします

(ガバナー月信は地区より配信のみで、各クラブにてコピーして配布する。マイロータリーへの登録とロータリーセントラルの活用を促進。)

⑥戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンを策定してください

(戦略計画委員会とは、歴代会長が委員長となり会長ノミニ、会長エレクト、現会長、ほか委員長が必要とされる委員で構成されます。理事会やクラブ協議会ですぐには結論が出せないクラブの中長期にわたる諸問題を検討し、解決の道を探求する諮問委員会としての役割もあります。)

⑦新IM内の親睦と情報交換を推進してください(IM8組から6組へ変更。当クラブはIM4組そのままです。)

⑧ハンブルク国際大会、地区大会、地区事業への積極的参加をお願いします

⑨「地区ロータリーデー」にご参加ください(IM4組は平成31年3月9日です。)

⑩地区のスリム化、効率化、運営の合理化、財務ルールの徹底を致します

以上が、地区方針として出されました。

また、それとは別に地区チームの目的として、次のように決められております。

RI会長方針の推進とクラブのサポート

「クラブが主役」

「クラブの活性化無くして地区の活性化なし」

「クラブの増強無くして地区の発展なし」

「クラブのお役に立つ地区」

「クラブに寄り添う地区」

「地区はクラブの縁の下の力持ち」

この様に、地区と各クラブの立場を説明し、目的とされております。

八尾ロータリークラブも、この方針に沿って活動してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

私は平成9年に入会させて頂き、これまで大変多くの先輩諸兄や友人から多くの体験や経験を通じ、人生の勉強をさせて頂きました。この事に鑑み、またクラブへの恩返しの意味も含めまして、今年度は「for the team 全てをクラブの為に」をスローガンに、すべての事業や奉仕活動も八尾ロータリークラブの為に役立つ事を目的とさせて頂き、会員の皆様と様々な問題も共有し、切磋琢磨しながら少しでも問題の解決に尽力させて頂こうと思っております。その為に、執行部と会員の皆様との情報交換を密に行う必要があり、担当副会長を2名体制にし、管轄する各委員会からの情報をスムーズに反映させ、会の運営を迅速にすることが可能になると思っております。また、各委員会に積極的に関与し、事業の進捗にも協力させて頂き、活性化を促します。

今年度は特に会員の増強と、大きな問題を抱える青少年に対する教育を、どの様に我々が支援し、影響を与える事が出来るかを皆様と共に考えて行こうと思っております。私が考えるすべての問

題(少子高齢化、マスコミによる世論誘導、政治家の幼児化、外交問題など)の元凶が人間の教育と躰にあると思います。

本来であれば、家庭での躰と学校教育におきまして青少年の教育をすれば一番効果が望めるのですが、人権教育に力を入れる現在の教育システムでは権利の主張ばかりで義務を伴う教育が出来ていないように思います。私の知る限り、数十年前から八尾市の小中学校におきましては教室の演壇が無くなり、教師と学生を目線を同じく平等にするという馬鹿な指導が行われております。

我々の時代の小学校には必ず二宮金次郎の背負子を担いで読本する銅像が校庭にはありましたが、現在ではほとんどの小学校では撤去されてしまったそうです。その他入学式や卒業式にも国旗の掲揚がされなくなったり、最近では高等学校の卒業式が一部の学生により好き勝手な、目に余る行動がテレビなどで報道されております。

この様なあまりにも自由という権利の主張がまかり通る現在のわが国の問題に少しでも取り組もうと考えますが、一朝一夕にできるものではございません。しかし、何もせずよりは多少でも、またお一人でも影響を与える事ができれば、価値があるものと思います。

我々が出来る事を考えますと、やはり青少年への教育から始めるのが適切かと思えます。その他にも教職員の教育があり、政治家の教育もあります。多くの問題を含んだ現在の世の中の状況ですが、少しでも八尾ロータリークラブが青少年たちへ、影響を与えることが出来れば未来は明るくなるのではないかと存じます。

最後になりますが、私一人がいくら気合を入れて頑張っても何もできないのは目に見えております。何卒、皆様のお力をお借りしまして円滑な事業の運営にご協力をお願い申し上げます。

各委員会の方針

1、SAA委員会(野村委員長)

スムーズな例会設営を心掛け、皆様のお役に立てることを目的とし、奉仕事業の要のニコニコ募金を募ります。

クラブ管理運営委員会

①会員増強委員会(児林委員長)

喫緊の課題の会員増強を進める為に、当クラブが抱える各種諸問題についてや、その他の問題の抽出の為、炉辺会議等を開催し問題の集約と解決に努めて頂きます。

②親睦委員会(菅野委員長)

胸襟を開いて会員同士の親睦を深める為の事業やイベントを開催して頂きます。

また、ロータリー活動にご理解を頂く為の家族会や親睦会を開催して頂きます。

③研修委員会(中西啓嗣委員長)

ロータリークラブに対する知識や意義を学ぶ研修会を開催し、奉仕の方法や手段などを理論立てて学ぶ機会を開催して頂きます。またクラブ戦略計画委員会と連携して中長期的な問題の解決にあたります。

④広報委員会(相馬委員長)

地区の大きな方針である公共イメージと認識度の向上を受け、八尾ロータリークラブを一般市民の方々に認識して頂く為に、どの様な手段、手法があるかを考えて市民の方々にど

の様に広報するかを検討し、結果を出して会員増強にも役立てるようして頂きます。

⑤出席委員会(新宮委員長)

会員の一番の義務である例会の出席を促し、入会の浅い方へも円滑な活動への参加応援に寄与して頂きます。また退会防止にも役立つ声掛けもお願いします。

⑥プログラム委員会(田中委員長)

会員の皆様にお役に立てるプログラムを考え、出席率の向上に寄与して頂きます。また予算内で外部の講師なども検討します。

⑦越中八尾担当(濱岡委員長)

長きに亘り、友情を培ってきました友好クラブであり、今後も益々の交流を踏まえお互いの友情を深めるよう努力して頂きます。

各奉仕委員会

1、職業奉仕委員会(山陰委員長)

クラブ会員に役立つような情報や、戦略を考え、皆様と一緒にどの様な活用方法があるかを研究し、会員各社の職業発展に役立つよう努力して頂きます。

2、社会奉仕委員会(松井委員長)

地域社会の町おこしや行事を通じて、クラブ会員企業や会員に役立つような事業を考え、八尾ロータリークラブの発展に貢献できるように委員会で検討して実践して頂きます。

3、国際奉仕委員会(小谷委員長)

台北東ロータリークラブへの公式訪問の件、前年度からの引継ぎ事項のセブ島への援助事業の件、ホノルル東ロータリークラブとの青少年交換事業の件などを、どの様に具体化して実践できるかを検討し、会員にも協力を仰ぎクラブ活性化に貢献して頂きます。

4、青少年奉仕委員会(大槻委員長)

我が国は終戦後の混乱から、先人の必死の努力で高度経済成長を遂げてきましたが、青少年に対するいびつな戦後教育のおかげで少子高齢化や男女の晩婚化など、今後国が衰退するばかりの環境になってきました。そこで我々は、一番の元凶であるべき青少年に対する正常な教育を施すプログラムを考えたいと思います。また皆様のお知恵を拝借してより良い効果的な活動に持っていきたいと思います。

5、クラブ戦略計画委員会(居相委員長)

八尾ロータリークラブの中長期的な問題や課題に対する助言や提言を頂き、クラブの発展に有意義な活動をお願いします。一年に4回位の委員会の開催をお願いします。

本日から新年度のクラブ活動が始まります。先輩諸兄の皆様方が57年間の長きに亘り培い、発展させて来られました当クラブの伝統と文化を継承しつつ、来年6月までの私の責務を果たしていこうと思っておりますので、何卒ロータリークラブの友情を持ちましてご尽力とご助言を賜れます事をお願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。

現況報告

幹事 澁谷 登志和

1. 名称 八尾ロータリークラブ
 例会場 〒581-0006 八尾市清水町1丁目1番6号 八尾商工会議所会館 3階
 TEL (072) 991-2129 URL www.yaorc.com
 FAX (072) 924-0010 E-mail: info@yaorc.com
2. 事務所 同上 2階
3. 例会日 毎週水曜日(12時30分～13時30分)
4. 地域 八尾市全域

ごあいさつ

幹事 澁谷 登志和

この度、幹事という大役を賜りましたことは非常に光栄で身の引き締まる思いでございます。八尾ロータリークラブが歩んできた歴史と、諸先輩方が積み重ねてきた伝統を重んじながらも、積極的に新しいことにも挑戦して参りたいと思います。

山本勝彦会長が掲げた「for the team 全てをクラブの為に」のスローガンに基づき魅力あるクラブの実現を目指し、メンバー各位のロータリーライフの一助になりますよう切磋琢磨し努力してまいります。又、3年後に控えた60周年に向けて今やらなければならない事を考え、1年間頑張っていきたいと思っております。

最後になりますが、メンバー皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

5. 会 員 (7月1日現在)

● 会員数 チャーターメンバー 21名(発足時)
 総数 名

● 入退会者一覧

年度	年 月	入会	退会	期末会員数	退 会 理 由
1	1961.3～ 1962.6	30	3	27	転出3
2	1962.7～ 1963.6	6	3	30	業務多忙2 転出1
3	1963.7～ 1964.6	8	3	35	死亡2 職業分類喪失1
4	1964.7～ 1965.6	5	1	39	転出1
5	1965.7～ 1966.6	7	4	42	業務多忙2 転出2
6	1966.7～ 1967.6	2	5	39	転出3 職業分類喪失2
7	1967.7～ 1968.6	4	2	41	死亡1 病弱1
8	1968.7～ 1969.6	9	6	44	転出2 職業分類喪失2 死亡1 病弱1
9	1969.7～ 1970.6	9	3	50	転出2 死亡1
10	1970.7～ 1971.6	8	4	54	業務多忙2 転出1 病弱1
11	1971.7～ 1972.6	10	8	56	病弱2 死亡1 業務多忙2 転出2 職業分類喪失1
12	1972.7～ 1973.6	6	5	57	転出3 業務多忙1 病弱1
13	1973.7～ 1974.6	3	2	58	転出2 業務多忙1
14	1974.7～ 1975.6	5	3	60	転出1 業務多忙2
15	1975.7～ 1976.6	6	1	65	業務多忙1
16	1976.7～ 1977.6	5	5	65	業務多忙3 病弱1 死亡1
17	1977.7～ 1978.6	6	1	70	死亡1

18	1978.7～ 1979.6	3	4	69	病弱4
19	1979.7～ 1980.6	4	6	67	死亡2 業務多忙2 転出2
20	1980.7～ 1981.6	4	6	64	死亡1 一身上都合3 業務多忙1 転出1
21	1981.7～ 1982.6	12	5	71	死亡1 一身上都合2 転出2
22	1982.7～ 1983.6	6	2	74	死亡1 業務多忙1
23	1983.7～ 1984.6	5	6	73	死亡1 業務多忙2 転出2 病弱1
24	1984.7～ 1985.6	6	4	75	転出2 死亡1 業務多忙1
25	1985.7～ 1986.6	3	4	74	転出2 死亡2
26	1986.7～ 1987.6	6	5	75	転出1 一身上都合2 業務多忙1 病弱1
27	1987.7～ 1988.6	4	3 (5)	76 (74)	転出1 一身上都合(1) 病弱(1) 死亡1 業務多忙1
28	1988.7～ 1989.6	2	3 (1)	74 (73)	死亡2 一身上都合(1)
29	1989.7～ 1990.6	9	4 (1)	78 (77)	死亡2 転出2 業務多忙(1)
30	1990.7～ 1991.6	3	6 (3)	77 (74)	業務多忙5 病弱1
31	1991.7～ 1992.6	5	2	77	死亡1 転出1
32	1992.7～ 1993.6	5	3 (1)	80 (79)	業務多忙 ² ₍₁₎ 転出1
33	1993.7～ 1994.6	5	5 (2)	81 (79)	死亡2 転出1 業務多忙1 一身上都合1
34	1994.7～ 1995.6	7	5 (1)	81 (80)	死亡2 転出1 病弱1 一身上都合2
35	1995.7～ 1996.6	7	5 (1)	82 (81)	死亡2 病弱1 転出2 業務多忙(1)
36	1996.7～ 1997.6	6	3 (1)	84 (83)	業務多忙2 転出1 一身上都合1
37	1997.7～ 1998.6	7	3 (1)	87 (85)	業務多忙2 転出3
38	1998.7～ 1999.6	5	4 (2)	88 (86)	死亡1 一身上都合3

39	1999.7～ 2000.6	6	5 (3)	87 (84)	死亡2 病弱 ² ₍₂₎ 転出 ¹ ₍₁₎
40	2000.7～ 2001.6	5	3 (6)	86 (80)	転出1(1) 一身上都合2(3) 病弱(1) 業務多忙(1)
41	2001.7～ 2002.6	5	4	84 (81)	業務多忙(1) 転出(2) 病弱(1)
42	2002.7～ 2003.6	6	4	83	業務多忙(2) 死亡(1) 健康都合(1)
43	2003.7～ 2004.6	8	1	90	死亡(1)
44	2004.7～ 2005.6	2	6	86	死亡(1) 業務多忙(4) 健康都合(1)
45	2005.7～ 2006.6	2	5	83	業務多忙(3) 健康都合(2)
46	2006.7～ 2007.6	5	5	83	業務多忙(4) 健康都合(1)
47	2007.7～ 2008.6	2	4	81	業務多忙(1) 死亡(1) 健康都合(2)
48	2008.7～ 2009.6	6	5	82	業務多忙(5)
49	2009.7～ 2010.6	3	2	83	健康都合(2)
50	2010.7～ 2011.6	2	12	73	業務多忙(6) 健康都合(5) 死亡(1)
51	2011.7～ 2012.6	4	13	64	死亡2 転勤1 病気療養1(1) 業務多忙9(6)
52	2012.7～ 2013.6	2	6	60	死亡1 業務多忙5(2)
53	2013.7～ 2014.6	2	3	59	死亡1 業務多忙2(1)
54	2014.7～ 2015.6	1	7	53	死亡1 健康都合1(1) 病気療養1(1) 業務多忙4(2)
55	2015.7～ 2016.6	7	4	56	業務多忙(3) 健康都合(1)
56	2016.7～ 2017.6	4	6	54	死亡(1) 健康都合(1) 転出(1) 業務多忙(2) 転勤(1)
57	2017.7～ 2018.6				

() 印は6月末日退会

6. 歴代会長・幹事

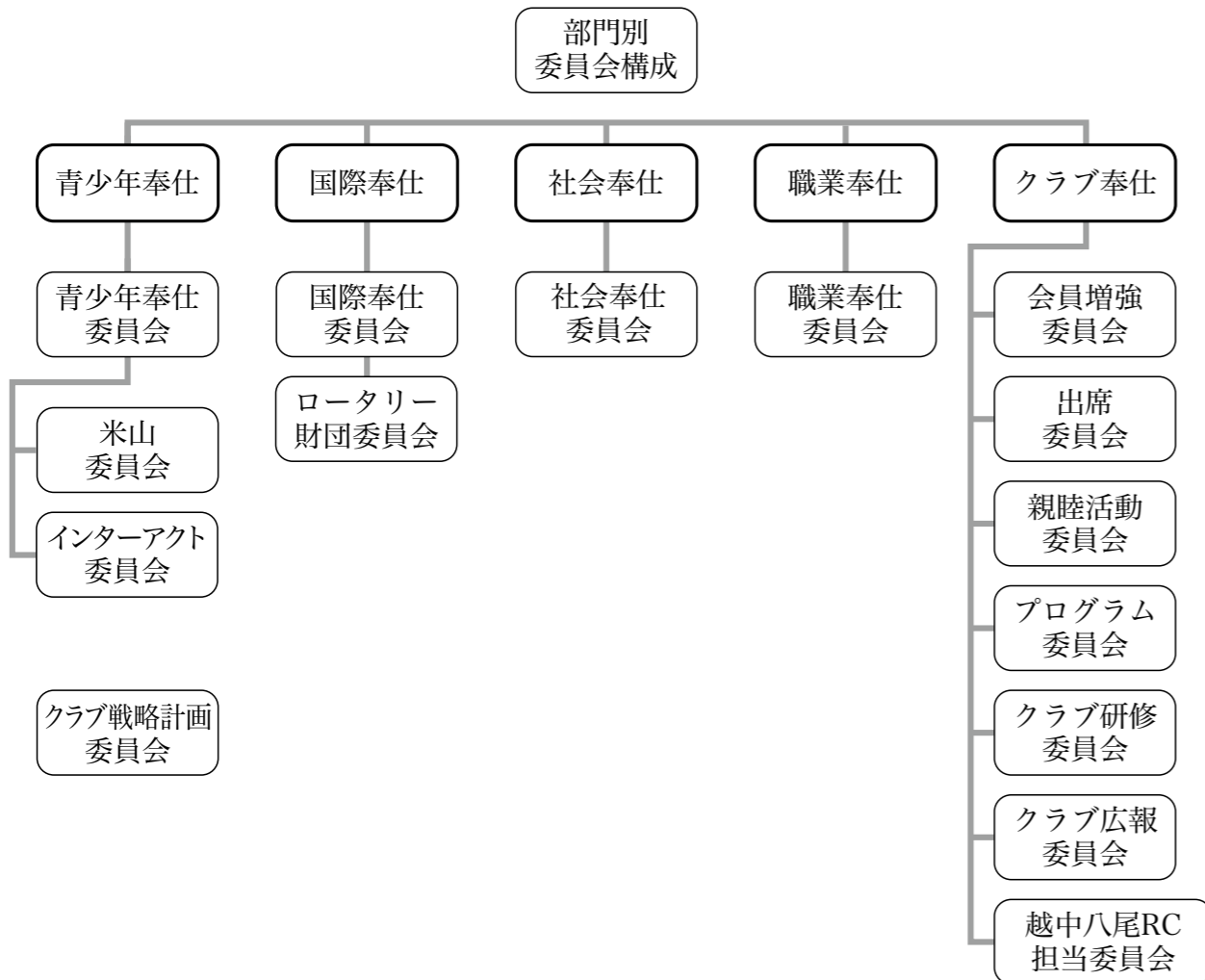
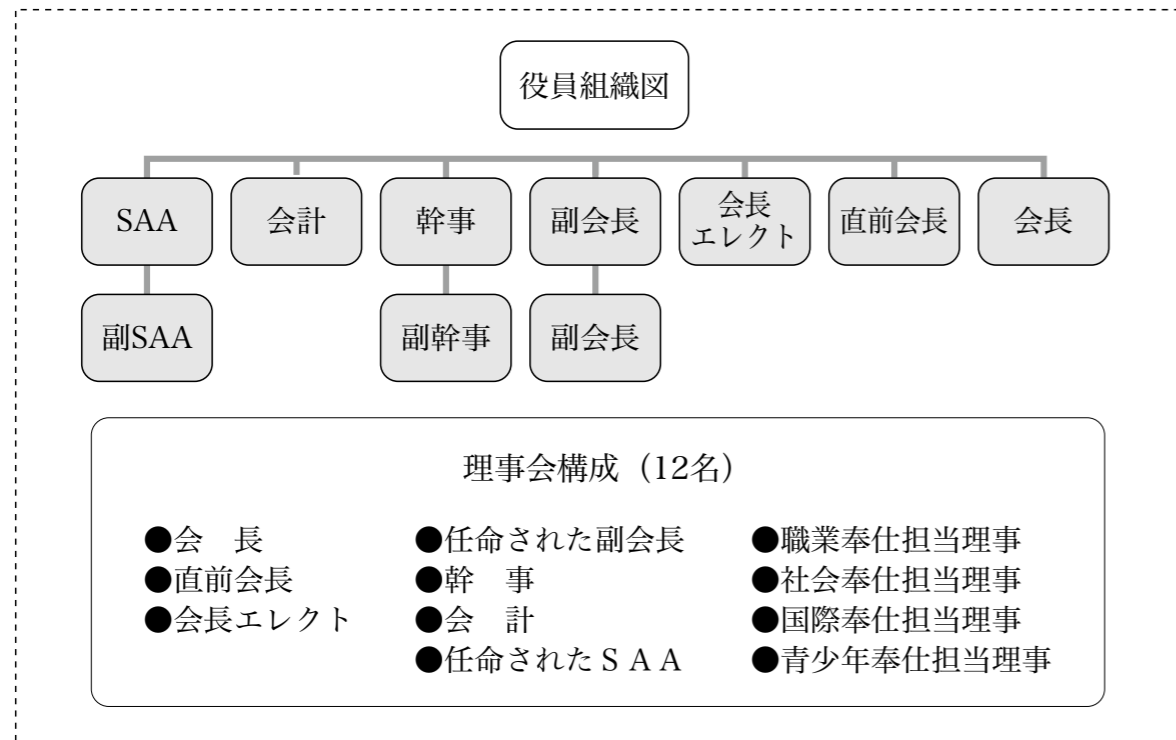
年度	会長	副会長	幹事	副幹事
1960～61	田中誠三郎	片岡兼二	柴谷好則	
1961～62	田中誠三郎	片岡兼二	柴谷好則	
1962～63	杉本萬五郎	中村忠夫・影山光二	仲谷常次	大東英一
1963～64	中村忠夫	青木豊隆	長谷川善吾	戸田孝
1964～65	今川三郎	古藤敏夫	平野大太郎	戸田孝
1965～66	平野大太郎	西本幸生	戸田孝	片岡信雄
1966～67	青木豊隆	田中彰	戸田孝	杉本一三
1967～68	安田光憲	山階忠四郎	杉本一三	中野通雄
1968～69	永井武	戸田孝	杉本一三	片岡信雄
1969～70	長谷川善吾	杉山英治郎	片岡信雄	柏原俊夫
1970～71	戸田孝	杉本一三	山畑雅裕	谷村安脩
1971～72	渡辺奇敏	山口秀高	前田東	谷村安脩
1972～73	山口秀高	高井保雄	増田鼎	堀井繁寛
1973～74	高井保雄	天野昌利	堀井繁寛	佐野匡史
1974～75	天野昌利	杉本一三	柏原俊夫	佐野匡史
1975～76	田中彰	増田鼎	古川利行	当座幸男
1976～77	杉山英治郎	山畑雅裕	佐野匡史	柏原俊夫
1977～78	古藤敏夫	中西喜三郎	田中光雄	山田真吾
1978～79	杉本一三	田中純吉	永井敬二	神崎繁
1979～80	増田鼎	古川利行	吉川鹿雄	平松秀一
1980～81	藤本直	谷村安脩	当座幸男	板倉與兵衛
1981～82	辻合喜代太郎	柏原俊夫	平松秀一	坂上節哉
1982～83	山畑雅裕	佐野匡史	吉田八郎	安原源一・小川寛
1983～84	三木利雄	安原源一	坂上節哉	三岡嘉治
1984～85	田中純吉	古村桂	松本新太郎	森川勝
1985～86	吉川鹿雄	片岡信雄	板倉與兵衛	高木優一
1986～87	谷村安脩	植野重雄	木村義一	新居恒男
1987～88	柏原俊夫	平松秀一	橋本雄司	加藤安
1988～89	安原源一	吉田八郎	渡辺梓	坂本憲治
1989～90	古村桂	坂上節哉	山口幸雄	田中昌之
1990～91	佐野清	岩田良三	小川寛	中西啓詞

年度	会長	副会長	幹事	副幹事
1991～92	植野重雄	板倉與兵衛・吉川秀次郎	森川勝	池尻誠
1992～93	仲谷常次	松本新太郎・柴田英一	大槻美佐夫	永井忠
1993～94	平松秀一	三岡嘉治・小倉九蔵	田中昌之	今川憲治
1994～95	吉田八郎	木村義一・那須郷磨	高木優一	中川將
1995～96	坂上節哉	力石恒夫・吉成敏行	居相英機	後藤孝吉
1996～97	松本新太郎	森川勝・山口幸雄	加藤隆	原田正義
1997～98	板倉與兵衛	高木優一・今井博	中島孝夫	正野憲
1998～99	木村義一	橋本雄司・渡辺祥	中西啓詞	山田隆章
1999～2000	高木優一	小川寛・大槻美佐夫	坂本憲治	高橋一郎
2000～01	森川勝	田中昌之・居相英機	池尻誠	小山悦治
2001～02	山口幸雄	加藤隆・正田常雄	今川憲治	井川孝三
2002～03	橋本雄司	中西啓詞・中谷武男	中川將	小林成禎
2003～04	大槻美佐夫	後藤孝吉・池尻誠	奥田勝啓	尾山浩司
2004～05	中島孝夫	今川憲治・原田正義	下城圓	今西敦之
2005～06	居相英機	坂本憲治・高井榮彌	村本順三	久尾潤一郎
2006～07	後藤孝吉	奥田勝啓・吉田義行	高橋一郎	川田隆
2007～08	池尻誠	田中義明・鈴木脩弘	正野憲	吉本憲司
2008～09	今川憲治	小山悦治	井川孝三	野田重夫
2009～10	坂本憲治	村本順三	山本昌市	谷口俊文
2010～11	中西啓詞	中川廣次	山本勝彦	長竹浩
2011～12	小山悦治	菅野茂人	植健次	吉田法功
2012～13	井川孝三	山本昌市	田中康正	松村康司
2013～14	高井榮彌	山本勝彦・井川孝三	川田隆	水野雅由
2014～15	中川將	濱岡千寿郎	吉本憲司	稲田賢二
2015～16	村本順三	笠井実	飯田寛光	小谷逸朗
2016～17	山本昌市	田中康正	山陰恭志	中西広美
2017～18	菅野茂人	宇野泰正	長竹浩	幡田賀紀
2018～19	山本勝彦	稲田賢二・柏木武生宜	澁谷登志和	福田隆教

7. 会員年齢構成 平均 歳 最低 歳 最高 歳

30代	名	50代	名	70代	名	90代
40代	名	60代	名	80代	名	

8. 組織表



役員		理事
会長	山本勝彦	山本勝彦
直前会長	菅野茂人	菅野茂人
会長エレクト	笠井実	笠井実
副会長	稲田賢二	稲田賢二
副会長	柏木武生宜	柏木武生宜
幹事	澁谷登志和	澁谷登志和
会計	吉本憲司	吉本憲司
S . A . A	野村俊隆	野村俊隆
補佐		山陰恭志
副幹事	福田隆教	松井良介
副S . A . A	中島孝夫	小谷逸朗
	宇野泰正	大槻恭介
	奥谷英一	
	中西広美	
	富田宏	
	幡田賀紀	
	藤田隆司	

9. 2018～2019年度 理事・役員・委員会構成表

	役員	副	理事・役員会構成
会長	山本(勝)		山本(勝)・菅野・笠井・稲田 柏木・澁谷・吉本・野村 山陰・松井・小谷・大槻
直前会長	菅野		
会長エレクト	笠井		
副会長	稲田・柏木		
幹事	澁谷	福田	
会計	吉本		
S A A	野村	中島・宇野・奥谷・中西(広)・富田・幡田・藤田	

委員会・担当理事	小委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ管理運営委員会	稲田・柏木			
	会員増強委員会	児林	宮川	佐野・松本・池尻・山口 井川・宇野・奥谷
	出席委員会	新宮	藤田	中西(広)・富田
	親睦活動委員会	菅野	長竹	小林・山本(隆)・藤田・北野 友田・曾家・鼓呂雲・平尾
	プログラム委員会	田中	西	高井・川田
	クラブ研修委員会	中西(啓)	長竹	中川(廣)・飯田・相馬
	クラブ広報委員会	相馬	山本(隆)	吉本・津田
	越中八尾RC担当委員会	濱岡	小谷	児林
職業奉仕委員会	山陰		山本(昌)	居相・寺坂・大熊・北野
社会奉仕委員会	松井		宮川	坂本・中川(將)・中川(廣)・曾家
国際奉仕委員会	小谷		濱岡	松井・宮川・児林・北野
	ロータリー財団委員会	飯田	奥谷	山本(義)・曾家
青少年奉仕委員会	大槻		大熊	村本・川田・新宮
	米山委員会	幡田	坂本	小山
	インタラクティブ委員会	吉田	西	西村・富田・友田
クラブ戦略計画委員会	居相		井川	戸田・松本・佐野 中西(啓)・菅野・山本(勝) 笠井・稲田・澁谷

クラブ管理運営担当委員会 稲田副会長 会員増強・親睦・出席・越中八尾
柏木副会長 プログラム・クラブ研修・クラブ広報

*米山奨学生カウンセラー 坂本

*地区関係 R I D2660
諮問委員会 戸田・松本
ロータリー財団委員会 飯田
ロータリー財団委員会 田中・西
R Y L A委員会 友田
インタラクティブ委員会 吉田・大槻

八尾ロータリークラブ職業分類

2018年6月末現在

実業の部	大分類	中分類			
1	資源及びその関係	1 農業・園芸			
		2 漁業・水産業			
		3 石炭業・鉱油工業			
		2 エネルギー関係	1 航空宇宙産業		
			3 建築関係	1 建設業・請負業 2 工事業・設備業	
		4	製造業及び配布業	1 金属加工業	11 化学工業
				2 船舶・航海用具	12 ゴム工業
				3 金物	13 食品工業
				4 計量・測定・分析機器	14 データ処理機器
				5 電気・電子工業	15 綿工業
6 自動車工業	16 家具・備品・家庭用品				
7 機械・装置	17 販売促進材料				
8 紙工業	18 学校教材				
9 ガラス工業					
10 プラスチック工業					
5	流通	1 貿易			
6	業務	1 印刷・出版	6 通信事業		
		2 警備	7 飲食		
		3 金融・保険	8 サービス業		
		4 不動産	9 葬儀		
		5 倉庫	10 小売業		
7	開発				
専門職業の部		1 法律	6 学校教育		
		2 経済	7 宗教		
		3 医療施設	8 団体		
		4 医師			
		5 薬学			

八尾ロータリークラブ職業分類表

実業の部

〔1. 資源及びその関係〕

中分類	小分類	正会員	
1 農業・園芸	1 園芸	稲田賢二	
	2 造園		
	3 造園業		
2 漁業・水産業	1 漁業用ロープ		
3 石炭業・鉱油工業	1 石炭販売		
	2 石油販売		

〔2. エネルギー関係〕

1 航空宇宙産業	1 航空	鼓呂雲健造	
----------	------	-------	--

〔3. 建築関係〕

1 建設業・請負業	1 建築	山本昌市 中川廣次 西村衛 澁谷登志和 菅野茂人 中西広美	新宮一誓
	2 建築設計		
	3 総合建設		
	4 塗装業		
	5 設計監理		
	6 建築コンサルタント		
	7 建築請負		
	8 建築資材リース		
2 工事業・設備業	1 ガス設備	柏木武生宜 飯田寛光 山本勝彦 吉田法功 濱岡千寿郎	
	2 空調設備		
	3 通信・信号工事		
	4 電機設備		
	5 めっき		

〔4. 製造業及び配布業〕

1 金属加工業	1 金属製品製造	富田宏	平尾貴英
	2 プレス加工		
	3 綿材加工		
	4 コンベア部品製造		
2 船舶・航海用具	1 船舶用品製造		
3 金物	1 建築金物製造		
4 計量・測定・分析機器	1 計量器製造		

中分類	小分類	正会員	
5 電気・電子工業	1 電気器具製造		
	2 電子部品製造		
6 自動車工業	1 自動車販売	山本隆一	
7 機械・装置	1 工業用炉	山本義治 寺坂哲之 村本順三	
	2 工作機械部品製造		
	3 製本機械		
	4 コンベア		
8 紙工業	1 紙管製造	井川孝三	
	2 紙器製造		
	3 紙加工		
9 ガラス工業	1 瓶製造		
	2 ガラス繊維加工		
	3 魔法瓶製造		
10 プラスチック工業	1 プラスチック製品製造	笠井実	
	2 プラスチック製品販売		
11 化学工業	1 化学薬品製造	松本新太郎 居相英機	
	2 界面活性剤製造		
	3 石鹼製造		
	4 無機工業薬品製造		
12 ゴム工業	1 工業用ゴム製造		
	2 工業精密部品製造・販売		
13 食品工業	1 飴菓子製造	中島孝夫 池尻誠 幡田賀紀 中西啓詞	
	2 洋菓子製造		
	3 和菓子製造		
	4 パン製造		
	5 穀物販売		
	6 米菓製造		
	7 乳製品製造		
	8 油脂製品製造		
	9 食品卸・ギフト		
14 データ処理機器	1 コンピューター関係サプライ		
15 綿工業	1 撚糸製造	津田伸一	
	2 繊維加工業		

中分類	小分類	正会員	
16 家具・備品・家庭用品	1 歯刷子製造	佐野 清	
	2 歯刷子販売		
	3 仏壇製造	長竹 浩	
	4 仏壇販売		
	5 ファスナー製造	中川 將	
	6 結納品		
	7 呉服販売		
17 販売促進材料	1 POPの加工及び販売		
18 学校教材		宇野 泰正	

〔5. 流通〕

1 貿易商	1 外国貿易		
-------	--------	--	--

〔6. 業務〕

1 印刷・出版	1 印刷	吉本 憲司	
	2 オフセット印刷		
	3 シール裁断		
2 警備	1 警備業	坂本 憲治	
3 金融・保険	1 銀行		
	2 保険	川田 隆	
	3 証券	小谷 逸朗	
4 不動産	1 ビル経営	戸田 孝	
	2 土地賃貸		
	3 不動産管理	山口 智士	北野 和男
	4 不動産コンサルタント	松井 良介	
	5 不動産販売	西 秀樹	曾家 清弘
5 倉庫	1 運輸倉庫	高井 榮彌 大槻 恭介	田中 康正
6 通信事業	1 電話事業		
7 飲食	1 レストラン	小山 悦治	
	2 給食	小林 成禎	
	3 料亭		
8 サービス業	1 洗車業		
	2 旅行斡旋業		
	3 音楽事務所		
	4 貸切バス	山陰 恭志	

中分類	小分類	正会員	
	5 人材派遣	宮川 清	
	6 環境衛生商品レンタル	福田 隆教	
9 葬儀	1 葬儀業	藤田 隆司	
10 小売業	1 眼鏡販売	大熊 勉	
	2 百貨店		

〔7. 開発〕

専門職業の部

1 法律	1 弁護士		
	2 司法書士		
	3 行政書士	野村 俊隆	
	4 社会保険労務士		
2 経済	1 税理士		
3 医療施設	1 公立病院		
	2 私立病院		
4 医師	1 内科医		
	2 外科医		
	3 小児科医		
	4 産婦人科医		
	5 耳鼻咽喉科医		
	6 歯科医		
	7 口腔外科医		
	8 矯正歯科医		
	9 物療科士		
5 薬学	1 薬剤師		
	2 医薬品製造		
	3 医薬品販売	奥谷 英一	
6 学校教育	1 大学		
	2 高等学校		
	3 幼稚園		
7 宗教	1 仏教		
	2 神道	友田 昭	
8 団体	1 社会福祉	児林 秀一	相馬 康人
	2 政経文化研究所		

10. 2018～2019年度 会計予算

1. 委員会・管理部門

収入の部			
	前年度	本年度	
繰越金		2,275,324	1,700,000
会費	274,000×60	16,440,000	274,000×63
入会金	100,000×8	800,000	100,000×5
ピジター徴収金	2,500×20	50,000	2,500×20
雑収入		20,000	20,000
利息		2,500	2,500
特別会費		0	0
合計		19,587,824	19,534,500

支出の部				
部門	委員会名	前年度	本年度	
委員会	クラブ 管理運営	会員増強	200,000	100,000
		出席	100,000	100,000
		親睦	1,600,000	1,600,000
		プログラム	300,000	1,000,000
		クラブ研修	100,000	300,000
		クラブ広報	1,500,000	1,600,000
	S A A	700,000	700,000	
	予備費	50,000	50,000	
小計①		4,550,000	5,450,000	

部門	項目	前年度	本年度
管理	会食費	4,600,000	4,600,000
	会場費	1,040,000	1,040,000
	貸借費	1,400,000	1,400,000
	給与	2,600,000	2,600,000
	退職積立金	0	0
	福利厚生費	450,000	450,000
	旅費	30,000	30,000
	備品費	30,000	30,000
	消耗品費	700,000	700,000
	図書費	10,000	10,000
	通信費	400,000	400,000
	印刷費	400,000	400,000
	慶弔費	475,000	450,000
	諸謝費	120,000	120,000
	研修費	150,000	150,000
	光熱費	100,000	100,000
	諸会議費	100,000	100,000
	雑費	50,000	50,000
	予備費	2,382,824	1,454,500
	特別会費	0	0
小計②		15,037,824	14,084,500
合計(①+②)		19,587,824	19,534,500

2. 奉仕部門

収入の部		
	前年度	本年度
繰越金	6,519,437	6,200,000
収入	3,500,000	3,600,000
利息	100	100
合計	10,019,537	9,800,100

支出の部			
部門	委員会名	前年度	本年度
社会奉仕	社会奉仕	1,700,000	1,700,000
	職業奉仕	600,000	600,000
国際奉仕	国際奉仕	550,000	1,500,000
	ロータリー財団	50,000	50,000
青少年奉仕	青少年奉仕	890,000	900,000
	米山奨学	50,000	50,000
	インターアクト	750,000	750,000
	予備費	5,429,537	4,250,100
合計		10,019,537	9,800,100

3. その他の収入

	前年度	本年度
繰越金	604,674	1,169,679
60周年積立金	600,000	600,000
利息	12	12
合計	1,204,686	1,769,691

11. 2018～2019年度 行事予定表

月	日	クラブ行事
7	4	例会・理事会 大阪柏原・八尾東・八尾中央RC会長・幹事より表敬訪問
	6	八尾東RCへ表敬訪問
	7	合同地区委員会(大阪YMCA会館)
	10	大阪柏原RCへ表敬訪問 八尾中央RCへ表敬訪問
	11	例会・初親睦会 大阪フレンドRC会長・幹事より表敬訪問
	18	例会
25	例会・大阪フレンドRCへ表敬訪問	
8	会員増強・新クラブ結成推進月間	
	1	例会・理事会
	2～5	インターアクト海外研修(第3461地区台湾) リーダー研
	8	例会
	15	例会休会 「自然の中で」(国立曾爾青少年自然の家)
	22	例会
29	例会 クラブ協議会(ガバナー補佐・エレクト)	
9	基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
	1	地区ロータリー財団セミナー(大阪YMCA会館)
	5	例会・理事会
	12	例会 金光八尾高校文化祭
	19	例会 ガバナー公式訪問
	22～24	秋のRYLAセミナー(ホスト: 茨木西RC)
26	例会	
10	経済と地域社会の発展月間/米山月間	
	3	例会・理事会
	10	例会
	13	地区公共イメージ向上セミナー(大阪YMCA会館)
	17	例会
	24	例会
31	例会	
11	ロータリー財団月間	
	7	例会・理事会
	14	例会
	21	例会
28	例会	
12	疾病予防と治療月間	
	5	例会・理事会
	7	地区大会・RI会長代理歓迎晩餐会(リーガロイヤルホテル)
	8	地区大会・本会議(大阪国際会議場)
	12	例会
	19	例会(上半期)
26	例会	

1	2	職業奉仕月間 例会休会
	9	例会・理事会 移動例会(シェラトン都ホテル)
	16	例会
	23	例会
	30	例会
2	2	平和と紛争予防/紛争解決月間 地区チーム研修セミナー(大阪国際会議場)
	6	例会・理事会
	13	例会
	16	地区補助金管理セミナー(大阪YMCA会館)
	20	例会
	27	例会
3	2	水と衛生月間 PETS(会長エレクト研修セミナー)(大阪国際会議場)
	6	例会・理事会
	9	IMロータリーデー(ホスト:大阪なにわRC)
	13	例会
	20	例会
	27	例会
4	3	母子の健康月間 金光八尾高校 入学式
	10	例会・理事会
	13	例会
	17	地区研修・協議会(ホスト:大阪西南RC)(大阪国際会議場)
	24	例会
5	1	青少年奉仕月間 例会
	8	例会・理事会
	15	例会
	18	規定審議会報告会(大阪YMCA会館)
	22	例会
	29	例会
6	1~5	ロータリー親睦活動月間 国際大会(ドイツ)
	5	例会・新旧合同理事会
	12	例会・新旧合同クラブ協議会
	19	例会
	26	例会(最終例会)

S. A. A

S A A 野村俊隆
副SAA 中島孝夫
副SAA 宇野泰正
副SAA 奥谷英一
副SAA 中西広美
副SAA 富田宏
副SAA 幡田賀紀
副SAA 藤田隆司

1. 基本方針

今年度、SAAは、今年度のテーマ「for the team 全てをクラブの為に」を推進するため、会員の皆様がスムーズにテーマに取り組んでいただける環境の実現に努めるとともに、メリハリのある活気あるクラブとなるよう会場運営に努めてまいります。

また、他の委員会の活動に積極的に協力、参画いたします。

2. 活動計画

- (1) 例会場の設営・管理監督
- (2) 食事の手配
- (3) ニコニコ箱の管理・報告・協力推進
- (4) 会員・ご婦人の誕生日のお祝い
- (5) 年次表彰、節目のお祝い

クラブ管理運営委員会

クラブ管理運営委員会 委員長 稲田 賢二

会員増強委員会 委員長 児林 秀一

出席委員会 // 新宮 一誓

親睦活動委員会 // 菅野 茂人

越中八尾RC担当委員会 // 濱岡 千寿郎

1. 基本方針

クラブ運営委員会として、クラブの発展には、魅力があり元気と個性のあるクラブづくりが必要だと思われま。そして一年を通して、充実のある奉仕活動に取り組みたいと思。い。

今年度会長が掲げる「for the team 全てをクラブの為に」をスローガンに、全ての事業や奉仕活動にできる限り全員の出席参加を促し、クラブの活性化に努力します。

柏木副会長とクラブ管理運営委員会を分担し、担当する委員会にはできるだけ出席して委員会の活性化及び各奉仕委員会との連携を模索してまいります。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

会長所信に基づいたクラブ運営の参加協力

(1) 会員増強委員会

会員増強について従来からの問題点を検討するためにクラブフォーラム及び炉辺会議の開催を行います。また会員純増5名を目標に努力します。

(2) 出席委員会

100%出席例会の達成を目指します。

(3) 親睦委員会

前会長、幹事の担当委員会であります。

更なる会員同士の親睦を深めた活動、またロータリークラブの活動にご理解をいただくための家族会及び親睦会の開催。

(4) 越中八尾RC担当委員会

昨年度越中八尾RC50周年式典に参加いたしました。今後も益々の交流の為親睦を深めていきます。

クラブ管理運営委員会

クラブ管理運営委員会 委員長 柏木 武生宜

クラブ研修委員会 委員長 中西 啓詞

クラブ広報委員会 // 相馬 康人

プログラム委員会 // 田中 康正

1. 基本方針

会長のスローガン「for the team 全てをクラブの為に」にもとづき、八尾ロータリークラブの為に役立つ事業や活動を行って参りたいと思。い。

また会長の大切にしている会員相互の親睦を旨とし、楽しいクラブライフをおくれる様な委員会活動にしていきたくと思。い。

稲田副会長とクラブ管理運営委員会を分担し、担当する委員会には出来るだけ出席して、委員会の活性化および各奉仕委員会との連携を模索してまいります。

他委員会の活動に積極的に協力・参画する。

2. 活動計画

(1) クラブ研修委員会

八尾ロータリークラブの会員全員がロータリークラブの知識を学び、いま一度ロータリーの意義を確認する機会をもうけたいと思。い。

また、新入会員が増えており入会年度の浅い会員に対する研修が必要になっていると考えます。研修の機会として皆和会の開催や炉辺会議を積極的に取り入れていければと考えております。

(2) クラブ広報委員会

八尾ロータリークラブを社会にPRし、八尾市民や行政、八尾の企業にも広く認知してもらい、会員の増強につながる活動をしていきたくと思。い。

また、会報やホームページの充実、マイロータリーの登録率アップにも取り組んでまいります。

(3) プログラム委員会

八尾ロータリークラブの会員の資質や経営者としての能力向上、人としての教養を高めるようなプログラムを考え、例会出席が楽しく意義のあるものにしていきたくと思。い。

会員増強委員会

委員長 児 林 秀 一
副委員長 宮 川 清
委 員 佐 野 清
// 松 本 新太郎
// 池 尻 誠
// 山 口 智 士
// 井 川 孝 三
// 宇 野 泰 正
// 奥 谷 英 一

1. 基本方針

会員増強委員会として、本年に課せられた活動内容は大きく、会長所信にもあります「for the team 全てをクラブの為に」を掲げられています。会員増強委員会としてもこのスローガンを基に今年一年間活動して参ります。

昨今のロータリークラブに於いても会員の減少が目立っており会員確保でロータリアンが日夜奔走されております。

我がクラブもご多分にもれず会員の退会、増員に日々悩まされている状態です。当委員会と致しましては、八尾ロータリークラブに魅力作りを各委員会と連携模索し退会者防止に努めます、また会員数については純増5名をめざし安定した会員構成を作ります。また以前からの懸案事項でもあります会員増員の為の諸問題を議案とし、フォーラム・炉辺会議等開催し本年の会員増強に努めてまいります。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 会員の増員については純増5名を目指します。
- (2) 会員の退会を防ぐ為、各委員会と連携を図り楽しい魅力あるクラブを目指し退会者ゼロを目指します。
- (3) 喫緊の課題でもあります会員増員について従来からの問題点をクラブ全体で検討して行きます。
- (4) 上記項目をフォーラム・炉辺会議等で検討・協議し方向性を見つけていきます。

出席委員会

委員長 新 宮 一 誓
副委員長 藤 田 隆 司
委 員 中 西 広 美
// 富 田 宏

1. 基本方針

本年度会長のスローガン「for the team 全てをクラブの為に」に基づき、例会出席は義務では寂しいので「出席は権利」と思えるように各委員会、特にSAA委員会・プログラム委員会と連携を取りながら出席率の向上を図りたいと考えます。他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 100%出席例会を達成する。
- (2) 例会の平均出席率をアップする。
- (3) 欠席が多い会員の理由・事情をメンバーで共有し、改善を図り、出席を促す。

親睦活動委員会

委員長 菅野茂人
副委員長 長竹浩
委員 小林成禎
// 山本隆一
// 藤田隆司
// 北野和男
// 友田昭
// 曾家清弘
// 鼓呂雲健造
// 平尾貴英

1. 基本方針

会員相互の友情や信頼は親睦によって育まれる、といっても過言ではありませんが、ロータリークラブは親睦が最終目的のクラブではありません。『親睦から奉仕へ』親睦活動がより素晴らしい奉仕活動の糧になるよう、例会を基本に考え、親睦事業を企画、実践していきたいと考えます。

尚、他委員会の活動に積極的に協力、参画します。

2. 活動計画

- (1) 例会が親睦の基本と考え会員相互の交流を深める場と成るようSAAと協力し活動する
- (2) 初親睦会 7月11日 日帰り旅行
- (3) 秋の一泊二日親睦旅行 10月 一泊旅行
- (4) 忘年家族会 12月12日 コンラッド大阪
- (5) 春の日帰り親睦旅行 未定

プログラム委員会

委員長 田中康正
副委員長 西秀樹
委員 高井榮彌
// 川田隆

1. 基本方針

今年度の八尾ロータリークラブのスローガンは「for the team 全てをクラブの為に」です。今後のロータリー事業、奉仕活動に参考になり繋がるような卓話を計画します。会員相互の理解、会社発展に繋がる職業の卓話計画に取り組みます。他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 会長所信に述べられている「青少年に対する教育の支援」に繋がるような卓話の実施。
- (2) 各委員会と協力し会員増強、出席率に繋がる魅力ある卓話の実施。
- (3) 会員からの卓話（会社PR、仕事を通しての学び、夢中に取り組んでいる事）の実施。

クラブ研修委員会

委員長 中西啓詞
副委員長 長竹浩
委員 中川廣次
// 飯田寛光
// 相馬康人

1. 基本方針

今年度の方針を達成するためのスローガン「for the team 全てをクラブの為に」を実践するためにロータリーの目的でもある奉仕活動を通じて親睦を深めることが重要であります。

その為に、ロータリーについての知識、意義を理解し、学ぶための研修会を実施してまいります。

研修会を実施するに当たって、クラブ理事会、各種委員会、特にクラブ戦略計画委員会等々と、連絡を密にし、実施してまいります。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 新会員および入会浅い会員を対象に9月、3月に研修会を実施
- (2) 現会員を対象に炉辺会議を前期、後期に研修の機会として実施
- (3) 研修委員会メンバーの会合を2か月に1回以上を目標に定期的に実施

クラブ広報委員会

委員長 相馬康人
副委員長 山本隆一
委員 吉本憲司
// 津田伸一

1. 基本方針

会長方針「for the team 全てをクラブの為に」を実現すべく、下記の四点を方針の柱にしたいと考えます。

- ・八尾ロータリー会員のネットワーク強化。
- ・新規会員勧誘支援。
- ・一般市民の認識向上（駅貼りポスターなど）。
- ・他委員会の活動に積極的に協力・参画する。

この柱に基づいて、既存のリソースと新規投資を効率的に活用し、最大限の効果を発揮できるよう努めます。

2. 活動計画

- (1) 既存の広報媒体（動画・Webサイト・会報等）を効率的・有機的に展開する。
- (2) 広報媒体の内容が陳腐化しないよう、適切に更新・維持管理を行う。
内容の更新にあたっては会員の情報や他委員会の活動内容を積極的に盛り込み、会員・一般の認知度向上に協力する。また、更新・維持管理には多大な労力・スキルを必要とするが、業務の整理・マニュアル化を行うことでスムーズな継承・継続が行われるよう整備する。
- (3) 広報事業の規模拡大を目的とした、周辺クラブとの連携・協働・人的ネットワーク構築を図る。
- (4) My Rotaryの登録率向上に努める。

越中八尾RC担当委員会

委員長 濱 岡 千寿郎
副委員長 小 谷 逸 朗
委 員 児 林 秀 一

1. 基 本 方 針

本年度、会長所信の「for the team 全てをクラブの為に」を念頭に長年にわたり友好クラブである越中八尾ロータリークラブと共に両クラブが更なる飛躍をするように努力していきたいと思えます。

委員会メンバー一同、各委員会にも積極的に協力、参画してまいります。

2. 活 動 計 画

- (1) 越中八尾ロータリークラブ公式訪問
- (2) 越中八尾ロータリークラブ新春互例会参加
- (3) 越中八尾ロータリークラブ公式訪問受け入れ

職業奉仕委員会

委員長 山 陰 恭 志
副委員長 山 本 昌 市
委 員 居 相 英 機
// 寺 坂 哲 之
// 大 熊 勉
// 北 野 和 男

1. 基 本 方 針

職業奉仕という概念はロータリークラブの根幹となるもので、正しく理解する努力を続けていくことが大切です。経営者の精神論のようなものではなく、異業種のメンバーから学んだことを持ち帰り、自分自身そして自分の職場や関係する人々の能力の向上に役立てる、そのようなサイクルを構築できる委員会活動を目指してまいります。そして職業は社会があってこそそのものです。変わり行く社会に職業をもってどのように役立つのかも合わせて学んでまいりたいと思えます。

委員会メンバー一同、各委員会にも積極的に協力、参画してまいります。

2. 活 動 計 画

- (1) 異業種への理解を深める卓話・勉強会
- (2) 外部講師を招聘して働き方改革、大人のひきこもり等現在クローズアップされている問題を取り上げた卓話・勉強会
- (3) 若い世代のキャリア目標を支援する事業

社会奉仕委員会

委員長 松井良介
副委員長 宮川清
委員 坂本憲治
// 中川將
// 中川廣次
// 曾家清弘

1. 基本方針

今年度の社会奉仕委員会では、地域社会に向けて、我々の事業を通じて心が鼓舞される様な事を考え、実行したいと考えております。また我々の住む地域社会に限らず広範囲な地域での活動を通じて、より多くの方々に影響を与える事が出来るように事業を行います。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 年末年始にかけての、街角イルミネーション事業
- (2) 国際奉仕委員会と協力し、海外での社会奉仕事業

国際奉仕委員会

委員長 小谷逸朗
副委員長 濱岡千寿郎
委員 松井良介
// 宮川清
// 児林秀一
// 北野和男

1. 基本方針

今年度の会長方針である「for the team 全てをクラブの為に」を国際奉仕活動を通じ具現化したいと考えます。

当クラブでは先輩方のご努力により3つの海外友好クラブが存在します。今年度は友好クラブの見直しと今後の新たな関係の創造にも着手する所存です。以下示します国際奉仕事業を通じ当クラブのプレゼンスを向上させるために努力します。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) イーストホノルルRCとの青少年交換事業
4年前に実施したイーストホノルルRCとの青少年交換事業を青少年奉仕委員会と協働し行います。
- (2) 台北東RCへの公式訪問
例年訪問しております台北東RCへの公式訪問を行います。
相互の会員間の親睦を図るため宴席、ゴルフによる交流を行います。
- (3) サンタマリアRCとの関係の検証とセブ島教育機関への経済援助
当クラブとは友好クラブでありながら長年疎遠になっていたサンタマリアRCとの関係を検証するとともに、セブ島教育機関への援助事業も検討します。

ロータリー財団委員会

委員長 飯田寛光
副委員長 奥谷英一
委員 山本義治
// 曾家清弘

1. 基本方針

会員皆様にロータリー財団に関する知識と理解推進を進めます。
今年で地区財団委員会に出向して2年目です。財団委員会の構成、補助金の種類・内容や意義・現状を説明し、知識を深めてもらえるよう努力します。
寄付金の必要性を説明し、補助金の活用を推進していきます。
他委員会活動に積極的に協力、参画します。

2. 活動計画

- (1) ロータリー財団を理解して頂くための卓話を行う。
- (2) 年次基金として一人当たり150ドル以上の寄付を達成する。
- (3) ポリオプラス基金として一人当たり50ドル以上の寄付を達成する。
- (4) 恒久寄付基金ベネファクター1名以上を達成する。

青少年奉仕委員会

委員長 大槻恭介
副委員長 大熊勉
委員 村本順三
// 川田隆
// 新宮一誓

1. 基本方針

本年度クラブテーマ「for the team 全てをクラブの為に」に基づき、まず委員会のメンバーが積極的に青少年事業に参加して頂けるよう努力します。
次世代を担う若者たちが地域社会、国際社会のリーダーとなっていけるよう青少年の健全育成を図ることは、平和でよりよい未来を築くための礎であると考えます。
人間同士の繋がりが希薄化している現在、青少年に有意義で適切な活動の場を設けその成長の一助となるよう努めます。
他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 金光八尾高校インターアクトクラブの活動への参加・協力
- (2) 曾爾高原での野外活動
- (3) 八尾市教育委員会の事業への参加・協力
- (4) 地区主催の青少年事業への参加・協力
- (5) 子ども食堂への参加・協力
- (6) 国際奉仕委員会と合同での交換留学

米山委員会

委員長 幡田 賀 紀
副委員長 坂本 憲 治
委員 小山 悦 治

1. 基本方針

山本会長のスローガンである「for the team 全てをクラブの為に」を基に米山奨学生がロータリークラブの活動や人との交流を知る機会を作り、人材育成のサポート役となれるよう努力する。

又、米山奨学委員会に対する見識を深め米山奨学制度を当クラブに広報し、理解を求める活動をする。

そして、他委員会の活動に積極的に協力、参画します。

2. 活動計画

- (1) 寄付金の地区目標（一人当たり3万円）への理解と協力。
- (2) マクドナルド・ミカエラ・マリさんをフォロー、バックアップする。
- (3) 地区活動に参加する。

インターアクト委員会

委員長 吉田 法 功
副委員長 西 秀 樹
委員 西村 衛
// 富田 宏
// 友田 昭

1. 基本方針

インターアクターに奉仕を奨励する方法を見つけ出し、地域社会に対して積極的に関心を持つよう促し、リーダーとして成長する機会を提供します。

また多くのロータリアンにも事業に参加して頂き、インターアクトを理解して頂けるよう努めます。

他委員会の活動に積極的に協力、参画する。

2. 活動計画

- (1) 夏季奉仕活動（玉串川の清掃）の参加。
- (2) 海外研修（8/2～5 台中）の参加。
- (3) 年次大会の参加。
- (4) 新入生歓迎会の参加。
- (5) 文化祭の協力及び参加。
- (6) 卒業式・入学式の参加。

クラブ戦略計画委員会

名誉委員	パストガバナー	戸田	孝
委員長	元会長	居相	英機
副委員長	元会長	井川	孝三
常任委員	パストガバナー	松本	新太郎
	元会長	佐野	清
	元会長	中西	啓詞
役職委員	直前会長	菅野	茂人
	会長	山本	勝彦
会員増強担当	副会長	稲田	賢二
クラブ研修担当	幹事	澁谷	登志和
	次年度会長	笠井	実

1. 基本方針（戦略計画委員会とは）

- (1) 戦略計画委員会はRI及びガバナー方針の基に中長期（3～5年）のクラブ運営の方向性を継続的に考える諮問機関的委員会です。
- (2) クラブ戦略計画委員会は単年度では解決が困難な課題を複数年度に亘り取り組んでゆく活動が大勢を占めています。例えば、会員減少、高齢化、会員研修、財政問題、奉仕のあり方等です。また、クラブの最高決定機関はあくまで理事会です。
- (3) 八尾RCの戦略計画委員会は複数年度にわたるクラブ方針や目標に対応できるように委員会構成は「常任委員」と毎年入れ替わる「役職委員」からなります。

2. 活動計画

- (1) 委員会の開催は年4回を目安
- (2) カウンセラー制度（会長経験者が1年間 新会員への指導・相談）
- (3) RI 規定審議会から出てきた定款細則及び八尾RC 定款細則変更の検討
- (4) 一過性や単年度では解決できない問題の検討
- (5) 60周年に向けたクラブフォーラムの実施